

本体内部に汚れが目立ってきたときは…

「サビのような赤い斑点」や「ザラザラしたもの」の場合

汚れは水の中に含まれているミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）によるものです。これらの汚れには、スーパーや薬局で販売されているクエン酸のご使用をお勧めします。

- ①クエン酸（約 10g）をぬるま湯でうすめて本体に入れる。
- ②2 ～ 3 時間後にやわらかいブラシできれいに洗い、水で十分にすすぐ。
- ③十分に乾燥させる。

飲食物の汚れの場合

ステンレスボトル用洗浄剤 TAA-A100（別売品）のご使用をお勧めします。

◆品番 TAA-A100 10g×4包入り

仕様

サイズ	0.3タイプ	0.38タイプ
実容量	0.32L	0.40L
水位線容量	0.30L	0.38L
保温効力 (6時間)	52度以上	57度以上
外形寸法 *1	幅9.9×奥行9.9×高さ12.2cm	幅9.9×奥行9.9×高さ14cm
質量 *1	0.28kg	0.32kg

*1 おおよその数値です。

※保温効力とは、室温20度±2度において製品に熱湯をせんユニット下端まで満たし、縦置きにした状態で湯温が95度±1度のときから6時間放置した場合におけるその湯の温度です。

※実容量とは、製品付属のせんユニットをしたときに、実際に入る容量です。「安全上のご注意」に記載している「水位線（少なめ容量）」ではありません。

消耗品・別売品のお買い求めについて

せんユニット（ふた・せん・内ふた・弁・パッキン）・スプーンは消耗品です。（熱や蒸気にふれるためご使用にともない傷んでくる場合があります。）1年を目安にご確認ください。汚れが目立ってきたり、ゆるくなってきたら、以下のいずれかでお買い求めの上交換してください。

- お買い上げの販売店
- タイガーお客様ご相談窓口（下記「連絡先」参照）
- 消耗品・別売品のご購入専用ホームページ

<http://www.tiger.jp/shop.html>

ご購入いただける消耗品・別売品



* せんユニットは、ふた、せん、内ふた、パッキン、弁つきです。製品の色柄により異なります。

お問い合わせについて

品質管理には細心の注意をはらっておりますが、万一製品が不具合なときは、P.9をご覧ください。それでも不具合のある場合は、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口へ次のことをお知らせの上、ご相談ください。

①製品名 ②品番 ③製品の状況（できるだけ詳しく） ④購入日

また、製品に関するご質問などもお気軽にお問い合わせください。

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために一部予告なく変更することがあります。

連絡先

タイガー魔法瓶株式会社 本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・お買い物のご相談は お客様ご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-011101
市内通話料金でご利用いただけます。

※携帯電話・PHSとIP電話等（ナビダイヤルを利用できない電話）の方はこちらへ

TEL (06) 6906-2121

●受付時間 AM9:00～PM5:00 月曜日～金曜日
(祝日・弊社休業日を除きます。)

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

ホームページアドレス <http://www.tiger.jp/>

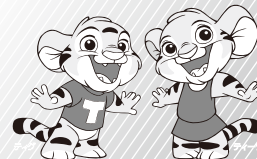
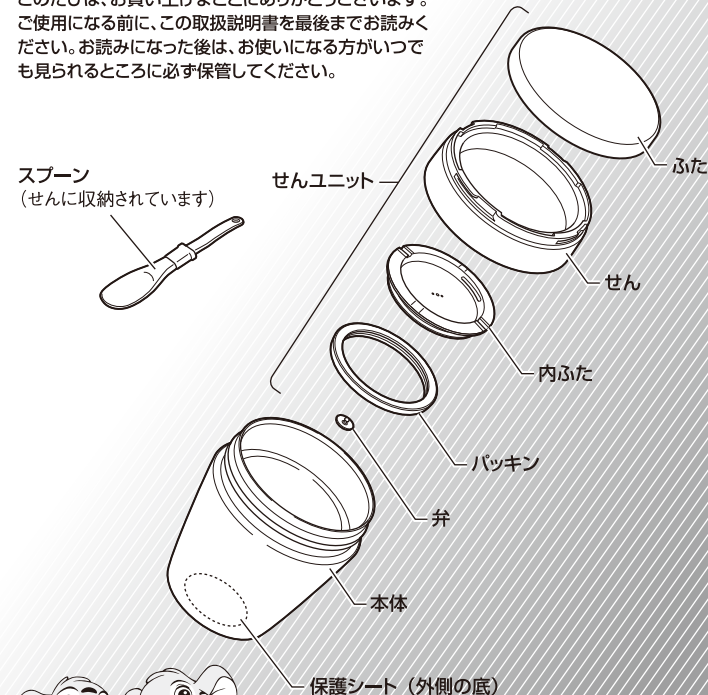


品番
MCC-A 型

ステンレスカップ スープカップ

取扱説明書

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



© 2003 TIGER CORPORATION

※ご使用前に各部品がそろっていることを確認してください。

安全上のご注意

本体に貼ってあるご注意 に関するシールと底のシールは、はがさないでください

けがややけどの原因となる、特にお守りいただきたい内容 です。

乳幼児の手の届くところには置かない。また、いたずらに注意する。

やけどやけがなどのおそれ。



熱いものを入れた場合は注意してゆっくり飲む。

やけどのおそれ。(断熱効果により、熱いものを入れても外側は熱くなりません。)

ドライアイス・炭酸飲料などは絶対に入れない。

内圧が上がり、せんユニットがあかなかったり、内容物が吹き出たり部品が破損して、けがのおそれ。

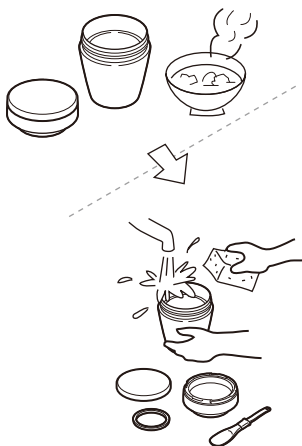
コンロやストーブなど、火気のそばには近づけない。

やけど・変形・変色の原因。

飲食物は、できるだけ早く(6時間以内)飲食する。使用後すぐにお手入れをする。腐敗・変質の原因。

本体の内圧が上がり、せんユニットがあかなかったり、内容物が吹き出たり、部品が破損してけがなどのおそれ。

外出時など充分なお手入れができないときでも、すぐに本体内側をよく水ですすぐ。カビの発生やサビや穴があくなど故障の原因や腐敗・変質・サビのおそれ。



生ものなど腐敗しやすいものは入れない。

腐敗のおそれ。

乳製品を含む飲食物、冷製スープなどは必ず一度加熱調理する。

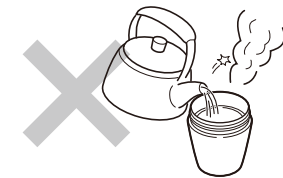
腐敗・変質の原因。

電子レンジで加熱しない。火花が飛んで、けが・故障の原因。



肩・飲み口部分にヤカンなどの注ぐ容器をあてない。

転倒して、やけど・けが・傷や変形のおそれ。



せんユニットは、確実にしまっていることを確認する。

内容物がもれて、やけどやものを汚す原因。

飲食物の量は、図の位置までにする。

入れすぎると、もれたり、あふれたり、やけどのおそれ。

内側の水位線まで(少なめ容量)



自動車走行中は使わない。

やけど・車内や衣服を汚す原因。(また運転者の場合、運転への注意が散漫となり、非常に危険です。)



傾けた状態や顔などを近づけた状態であけない。

熱いものを入れた場合、本体の内圧が上がり、内容物が急激に出たり、飛散してやけどなどのおそれ。

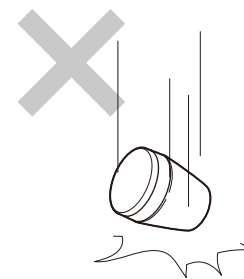
保温性能が低下したときは使用しない。

熱いものを入れると本体が熱くなり、やけどなどのおそれ。

飲食物の保温・保冷以外に使わない。

倒したり、落としたり、ぶつけたりする等の強い衝撃を与えない。

破損・保温(保冷)効果の低下・サビ・塗装はがれ・内容物がもれるおそれ。



分解・修理はしない。故障や事故の原因。

冷凍庫に入れない。内容物がもれたり、破損のおそれ。

使いかた

かばんや袋に入れたまま放置しない。
周囲の環境(湿度・塩分)などにより、サビ・においの原因。



本体外側が濡れている状態で、かばんなどに入れない。
サビ・におい・汚れの原因。

塩素系漂白剤は使わない。
サビたり、穴があく原因。

本体の柄やシールを、つめやかたいもので引っかいたり、こすったりしない。
はがれる原因。

本体外側の底に貼ってある保護シートは、絶対にはがさない。
はがすと、保温(保冷)効果が低下するおそれ。

本体の横置きはしない。
内容物がもれる原因。

かばんなどに入れるときは、
本体を立てて入れる。
横にするとおそれ。

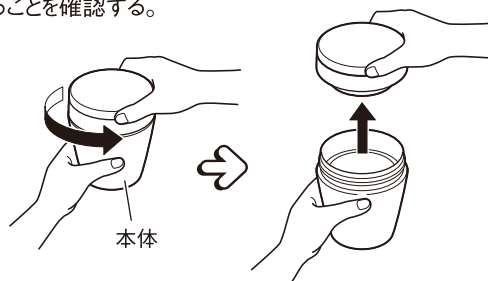


1

せんユニットをはずす。

First!
はじめて使うとき

- 「はじめて使うとき」を参照してお手入れする。→ P.7
- せんユニットに、ふた・せん・内ふた・弁・パッキンがついていることを確認する。



2

保温(保冷)効果を高めたいときは、少量の熱湯(冷水)を入れ、1～2分予熱(予冷)する。
予熱(予冷)後は、お湯(水)をすてる。

3

熱い(冷たい)飲食物を入れる。
●飲食物は、入れすぎないように図の位置までにする。



4

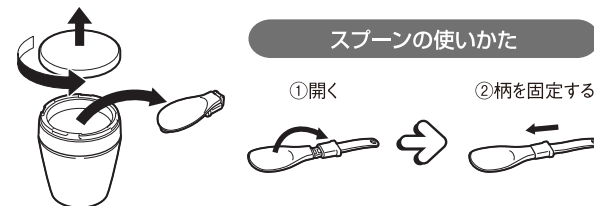
本体を立てた状態にしてせんユニットをしめる。

- せんユニットが、まわらなくなる位置まで、確実にしめる。



5

ふたをあけてスプーンを取り出す。



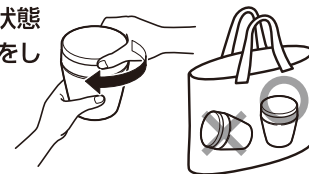
6

せんユニットをはずして飲食する。

ご注意
●使用後すぐにお手入れをする。

7

飲食し終わったら、本体を立てた状態にして、スプーンを収納し、ふたをしめ、せんユニットを確実にしめる。
せんとふたを確実にしめる。



ご注意
●かばんなどに入れるときは、本体を立てて入れる。
横にすると、おそれ。

お手入れのしかた

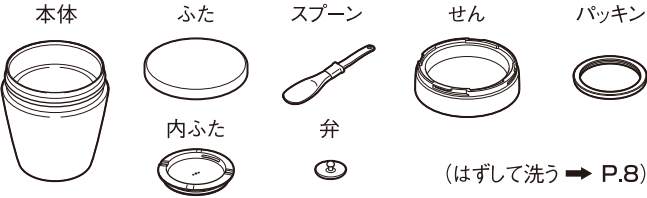
はじめて使うとき

材料特有のにおいがする場合があり
ます。この場合は以下の手順でお手
入れしてください。

- ① 本体に熱湯を入れ、せんユニットを確実にしめる。
→ P.5・6
- ② 本体を持って、内側を充分にすぐ動作を数
回くりかえす。(強い振動は加えない。熱湯が
吹き出しやけどのおそれ。)
- ③ お湯をすて、各部のお手入れをする。
→ 下記



- ◆使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆洗剤は、台所用合成洗剤(食器用・調理器具用)を使う。
- ◆スポンジ・布はやわらかいものを使う。
- ◆においを防ぐために、こまめにお手入れする。



(はずして洗う → P.8)

- ① 洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジを使って洗い、水で
充分にすすぐ。(本体とせんユニットは、流し洗いはできますが、つ
けおき洗いはしないでください。)
- ② 乾いた布で水分をふき取り、充分に乾燥させる。

パッキンににおいがついたとき

内容物によっては、そのにおいがパッキンに付着することがあります。
気になる場合は内容物ごとにパッキンもしくは、せんユニットをお買い
求めください。

→ 裏表紙

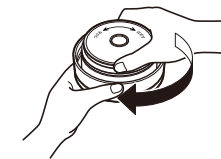
(例:みそ汁用のせんユニットと、スープ用のせんユニットを使い分
ける。)

ご注意

- 本体を丸洗した後は、すぐに乾いた布で水分をふき取る。ふき取らな
いと「水滴」の跡が残ったり、サビ・他のものを汚す原因。
- シナー類・クレンザー・塩素系漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・
ナイロンたわしなどは使わない。
- 食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸しない。熱湯を使わない。
- せん・内ふた・パッキン・弁は必ず取り付ける。→ 下記
- 長期間使わないときは、充分に汚れを落とし、乾燥させる。

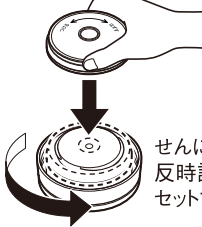
内ふたのはずしかた・つけかた

■はずしかた



せんから内ふたを時計まわりに
まわし、軽くひっぱりながらはずす。

■つけかた



せんの内ふたをかぶせ、
反時計まわりにまわして
セットする。

パッキンと弁のはずしかた・つけかた

ご注意

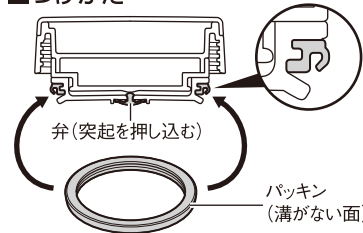
パッキンと弁の取付位置、方向をまちがえないようにする。
内容物がもれるおそれ。

■はずしかた



パッキンをつまんでゆっくりはずす。

■つけかた



パッキンの取付位置、方向を
確認して奥まできっちりめ込む。

不具合が生じたときは

こんなとき

飲食物がもれる。

→ パッキン・弁がついていませんか。

→ 確実にセットする。→ P.8

→ せん・内ふた・パッキン・弁が
確実にセットされていますか。

→ 確実にセットする。→ P.6・8

→ せん・内ふた・パッキン・弁が
破損していませんか。

→ 破損しているときは、お買い求め
の上交換してください。→ 裏表紙

→ パッキン・弁の取付位置、方向
をまちがえていませんか。

→ 確実にセットする。→ P.8

→ 飲食物を入れすぎていませんか。

→ 入れすぎないようにする。
→ P.2・5

→ パッキン・弁に飲食物(固形物)がついていませんか。

→ 食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸したり、熱湯を使っ
ていませんか。→ P.8

保温(保冷)が
効いていない。

→ 落とし、強い衝撃を与えていませんか。→ P.3

→ 飲食物の量が少なくありませんか。少ないと、充分な保温(保冷)効果
が得られない場合があります。

→ 寒冷地や周囲の温度が高い場合など、使用環境の厳しい状況では、
充分な保温(保冷)効果が得られない場合があります。

本体内側、せんや
パッキン、弁から
異臭がする。

→ はじめて使うときは、材料特有の
においが場合があります。

→ 「はじめて使うとき」を参照して
お手入れする。→ P.7

→ 汚れが付着していたり、飲食物を長
時間入れたままにしていませんか。

→ お手入れをする。→ P.7・10

→ 水道水に含まれるカルキ臭が
残る場合があります。